

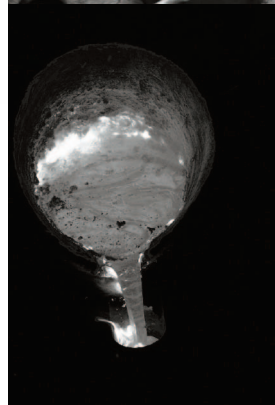
住まいの飾り職人“アトムリビントック株式会社”の広報誌 [アトムニュース]

ATOM NEWS

2017 SPRING

195





KANAGU

kanagu-store.com



2017 SPRING

195

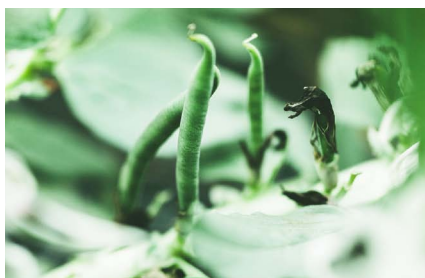
CONTENTS

ギリシヤ神話に登場する知恵・芸術・工芸の女神アテナに見守られて、
技を極めようとする職人と、分身ともいえる「道具」があります。
その職人の熟練の技と仕事にかける生き方を紹介します。

- | | | |
|----|-------------------|------------------------|
| 3 | アテナの道具箱 | オーダーメイド靴職人 大森 勇輔 |
| 6 | 石の神様・仏様 | 口角上げればすべてが上がる |
| 7 | 住まいに役立つ仲間たち | 『台所』は家のかなめ、食のもと |
| 9 | CSタワー通信 | 春のイベントのお知らせ |
| 10 | Vegetable Atelier | ファーベ |
| 11 | 古今東西たてものがたり | 千代田区 ニコライ堂 (東京復活大聖堂) |
| 15 | What is ATOM? | アトムリビンテックって、どんな会社? [5] |
| 17 | SLOWでいこう | 大阪市 Salon de AManTo 天人 |
| 18 | オフタイム | |

今号の表紙

写真 ファーベ



「ファーベ」については
10ページでご紹介しています

photo by 吉田周平

1981年神奈川県南足柄市生まれ。千葉県八千代市在住。
娘の誕生をきっかけに写真に出会う。あるがままの日常を
独自の視点で撮影する。

アテナの道具箱

ATHENA'S TOOL BOX

VOL. I

読者プレゼント Present



design 五十嵐久枝

電波時計 cake

できるだけナチュラルに仕上げたからこそ、天然木の表情が存分に楽しめる電波時計。時の経過とともに味わいが増すと思うと、これから一緒に生活するのが楽しみです。春から新生活を送る方もそうでない方も、新しい時計をお部屋に迎えたら、フレッシュな気持ちで過ごせそう。

【サイズ】 W137×H137×D60mm 【材質】 タモ、ガラス 【重量】 500g
【販売価格】 12,000円＋消費税 スイープセコンド 日本国内仕様

巻末のハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で3名様にプレゼントいたします。

締め切り 2017年4月30日(日)

●当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます

ギャラリーショップ KANAGU

職人・金属・手しごとをキーワードに、
こだわりのアイテムを取り揃えています。





アテナの道具箱

ATHENA'S TOOL BOX

VOL. I



その手は柔らかく、ふつくらしていた。
鞣した革を裁断し、漉き、折り込み、
縫い上げる。そうした手仕事に携わって
いるのが意外に感じられるほど。

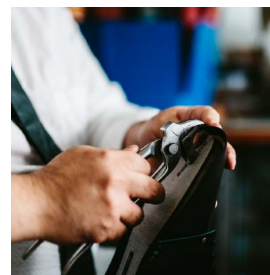
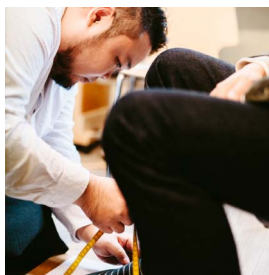
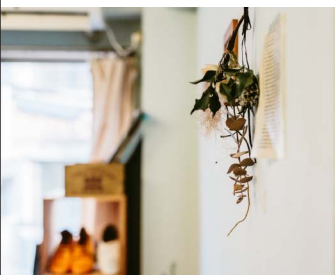
チャーミングな笑顔とあごヒゲ、ワイ
シャツとネクタイ姿。「ここぞと気合を
入れるときは知り合いの木工職人がつく
ってくれた木製の蝶ネクタイを身につけ
る」という。

ビルの二階にあるアトリエの真中に、
作業用のテーブルと椅子。周りの棚には
靴の木型やサンブル靴、皮革の束が詰め
こまれた箱や道具箱、ミシンや皮剥ぎ機
研磨機などなど。室内にはイギリスのロ
ックバンド「クローラ・シエイカー」の曲
が流れていた。

靴づくりの重要なポイントは「釣り込
み」という工程だ。「平らな革を木型に沿
わせ、立体的な靴のカタチにしていく作
業です」

このときに使うのが、通称「ワニ」と
呼ばれるピンサーペンチ(下写真右)。「獲物
を狙って口を開けたワニに似ているから」
その口で革をつかみ、引っぱり、丸み
をつけていく。力加減を間違えると、革
は破れる。

大森さんが大切にしているのはドイツ
の「MINKE(ミンケ)」製。一九一二年



靴は人を映す鏡



オーダーメイド靴職人 **大森 勇輔**
YUSUKE OMORI

1980年神戸市須磨区生まれ。大学卒業後、医療機器メーカー勤務を経て、神戸医療福祉専門学校の整形靴科に入学し、靴製作の道へ。エドワード・ヘルプスト氏に師事し、靴づくりを学ぶ。2007年にオーダーメイドシューズ「Yusuke Omori」を開業。シューズメイキングスクール講師も務める。日本義肢協会認定・整形靴製作技術者

www.yusuke-omori.com



創業のブランドで、とくに整形靴の分野
の道具では高い評価を得ている。

新品の場合、エッジが尖っているから
ヤスリをかけて丸みを出し、作業しやす
いようにネジの締め具合を調整する。「ワ
ニは使えば使うほど味が出てくる一生モ
ノ」。そのワニが、大森さんの靴づくりを
支えている。

— 靴職人の道へ —

大森さんが靴職人をめざしたのは、二
十五歳のときだ。

文系の大学を出て、医療機器メーカー
の営業職に就いた。が、入社して二年目
ふと「これで、ええんか?」と思いはじ
めた。「手仕事の世界。何かをつくって、
それでお客さんに満足してもらえる仕事
がしたかった」

営業の合間をぬって、カバン職人や宮
大工、家具職人など気になる職人を訪ね
歩いた。その出会いの中で、最終的に選
んだのが靴職人の道だった。

脱サラを決意し、神戸医療福祉専門学
校の整形靴科に入学した。靴の学校はほ
とんどがファッション関係だが、日本人
も椅子を使う生活が中心になって、骨格
が欧米化しつつある。「でも靴がその骨
格に追いついていない。だから歩き方が
変になって、腰を痛めたり、足の変形に
悩む人が増えてきた」

「今後は高齢化が進む。だから、病気で歩行に悩む人のための靴づくりがしたい」。そう思った。

学校では、エドワルド・ヘルプスト氏に師事し、オーソペディックシューズ(足の治療や足の運動機能を補助する目的で製作される靴)やドイツ式の靴づくりを学んだ。健康靴の先進国といわれるドイツの技術と、日本人の繊細さと感性の融合。その経験が、大森さんの靴職人としてのベースになっている。

— 独立し開業 —

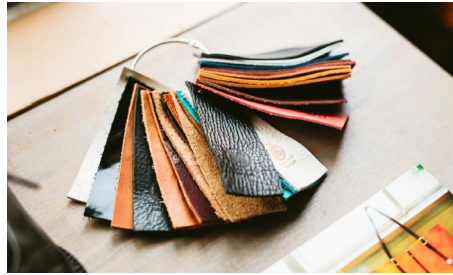
卒業後、半年ほど日本各地の靴工房を転々とし、見学や手伝いをさせてもらった。

その武者修行時代を経て、二〇〇七年に独立開業。手仕事によるオーダーメイド靴のアトリエを出身地の神戸に構えたフルオーダーメイドと、カジュアルオーダーメイドが受注の二本柱だ。

「お客さまに満足してもらい、長く履いてもらうことが前提だから、革の選定、縫い合わせ、強度に人一倍気をつかう」。十年経つても、ちゃんと履ける靴づくりを心がけている。

開業して、最初にオーダーメイドの依頼を受けたお客さまは、脚に小児マヒのある若い女性だった。

まっすぐに歩けなくて、どうしても片足を引きずってしまう。靴も傷みやすく、



変形して擦り減っていた。保険でつくれる靴があるが、黒色しかなくマジックテープで留めるタイプの、おしゃれとは程遠い靴だった。

「この娘のために、お出かけするときに対応しい靴をつくってください」。それが、その女性のお母さんの頼みだった。

丁寧に採寸し、歩行の状態を確認しながら、デザインを起こした。「若い女性に着飾って街に出かけられるような靴。しかも、履きやすく、かつ歩きやすくなければ...」

できあがったのは、淡いピンクと黒を混ぜた二色の色合いの、ブーツタイプの靴だった。気に入ってもらえるかどうか、不安があった。ゆっくり試着して、歩いてもらう。ふと見ると、その女性の満面の笑顔が。それがすべてを物語っていた。

— 靴は人を映す —

独立して、今年でちょうど十年。自分が手がけた靴の前に「去年よりも今年、今年よりも来年はもっといい靴を」と仕事に対する姿勢は厳しい。

ヨーロッパには「靴は人を映す鏡」という言葉がある。靴はそれほど人々の生活に密着し、個性を表現しているもの。「だから自分が作った靴にはほかの何よりも、ぼくという人間が如実に表されていると思う」

大森さんは「自分の靴で誰かを笑顔にしたい」「オーダーメイド、ハンドメイドの靴をもっと多くの人に知ってほしい」という。

靴づくりは、その思いを胸に木型や革と格闘し、みずからの技術の高みをめざす作業だ。

靴という字は「革」が「化ける」と書く。

靴職人・大森さんの手によって、革はカタチを変え、新たな生命が吹き込まれていく。



石の
神様

仏様

24

東京都港区 金地院 恵比寿様

口角上げればすべてが上がる

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神様・仏様。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、わたしたちに何かを語りかけてくれます。



人間、年を取ると、

どうしたって、いろいろなものが下がってきます。

上がるのは食費や家賃ばかり。

やる気とか体力とか夢とか情熱とか、

失いたくないものに限って下がるんですよ。

中でも顕著に表れるのは見た目です。

体中についた贅肉とか、ほったなど、

すべてが地球の重力に負けて、ずるずる落ちてきます。

写真を見てショック、鏡を見て愕然。

でも、そんな時こそ、このおまじないを唱えてみましょう。

「明日はもっと、口角上げていこうぜ！」

いつも唱えていると、

ちよつとずつですが、本当に口角が上がります。

そしたらその次には、このように唱えましょう。

「まだまだ長い人生、口角上げて生きましょう！」

そうすると、不思議なもので、

夢や情熱も、ちゃんと戻ってくるのですよ。

金地院 恵比寿様 (東京都港区)

金地院は、東京タワーのほぼ真下。しかし、都心のお寺によくある現代的な建物ではなく、境内には、古きよき昭和の雰囲気が残っています。その一隅で、この恵比寿さんの像を発見。高さは30cmくらいかな？ 小さな小さな像だけれど、笑顔に目がひきつけられました。この像の笑顔は、一般的なえびす顔よりも穏やかで優しく、見る者をほっこりさせてくれます。こんな表情で、口角上げて生きていきたいですね。

● 都営地下鉄三田線御成門駅から徒歩約7分



文・写真 吉田さらさ 寺と神社の旅研究家

寺、神社、仏像に関する執筆と講師が主な仕事。取材旅行を重ねるうちに、石の神様、仏様の像の魅力に気づき、写真を撮って「お言葉」を考えるのがライフワークとなった。2014年秋に、撮りためた写真をまとめた本『明日がちよつと幸せになる お地藏さまのことば』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)を上梓。その他、『近江若狭の仏像』、『石仏・石の神を旅する』(いずれもJTBパブリッシング)など、著書多数

<http://sarasa77.hatenablog.com/>

肉を焼いて食べるようになる

人類の歴史をひもといてみると、サバイバルの狩猟生活をしてきた時代、外や洞窟で火をおこすことは動物から身を守ることと暖をとること、このふたつがおもな目的でした。さらに肉を火で焼くことによる食料の保存とともに食べた肉の消化の促進が人類の健康に大きな変化をもたらしました。



住まいに役立つ
仲間たち

KITCHEN

『台所』は家のかなめ、食のもと

まだ台所に釜があり薪でご飯を炊いていた時代、多くの家庭の台所は土間にありました。つまり台所には火と煙の匂いが充満していた時代です。そこから台所は急激な変化を遂げ、家のインテリアの一部を担う現代のシステムキッチンへと進化していきました。まずは火と煙の匂いがした時代の台所のおはなしをしましょう。

昭和初期の台所

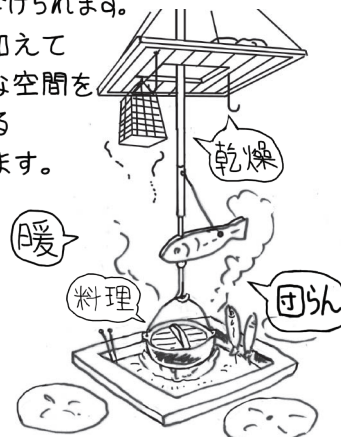
食べる行為は、それぞれの文化を色濃く反映しています

土間でそのまま食事をする人たち、また食卓に料理したものを運び食べる人たち、水上生活における、床がそのまま食卓となる人たち。世界の食生活を覗いてみるとさまざまです。ただ共通していることは『水と火が使えること』とそれに加えて調理器具があることです。



囲炉裏(いろり)という食卓はとて優れた空間でした

囲炉裏の特徴は、料理ができ、暖がとれ、また食材の乾燥や火の保存管理ができることなどが挙げられます。これらの機能に加えて人々が集う素敵な空間をつくり出していることに気が付きます。



平安から江戸時代へ

台所の語源は平安時代の台盤所(だいばんどころ)だと言われています。台盤とは料理を盛った盤(皿)をのせる台のことで、上流階級では調理場から食べるまで料理を運んでいました。この形式は江戸時代の上流社会においても続いていました。しかし下級武士などの家の台所は庶民と変わりませんでした。



塩浦 信太郎

信太工房主宰/カラクリ作家。博物館や科学館へのカラクリの貸し出し、ホテルなどからのオーダーによる作品制作、ほかにデパート各店での展示販売などを行っている

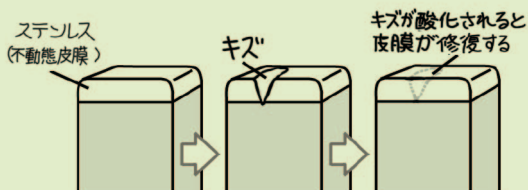
素材を知る

ステンレス

魔法の皮膜クロム

ステンレスは英語でstain（汚れ・錆）less（無い）、つまり錆びにくい鋼のことです。鉄を主成分（50%以上）とし、クロムを10.5%以上含む特殊鋼をステンレスと呼びます。クロムはクロムメッキなどにも使える常温で安定した銀白色の金属で、他の金属との組み合わせが簡単にできる金属です。

1912年にドイツのエドワード・マウラーとベンノ・シュトラウスがクロムとニッケルを含有するステンレスの製造特許を取得しました。では、なぜステンレスは錆びにくいのでしょうか？ 本来、金属は大気中の酸素が触れることにより酸化する（錆びる）といった現象が起こります。ステンレスも同じように大気中の酸素と金属の元素が結びつき、酸化物として錆が発生しますが、その表面にクロムを多く含んだ非常に薄い皮膜（不動態皮膜）をつくることにより、錆の原因となる酸素から鋼を守るステンレスのバリアーとなるのです。とはいえ、ステンレスといえども、傷がつけば表面の被膜が傷つき破られ、錆が発生するのではないかと思われるかもしれません。



ところが、ステンレスの不動態皮膜には自己修復能力がそなわっているため、ほとんど錆びないのです。つまり、傷ついたステンレスのむき出しとなったステンレス素地とクロムが再度大気中の酸素と結合し、クロムを含むバリアーが再生されるので、ほぼ無限に再生され続けるのです。そんな無敵と思われるステンレスでも海水のような塩素には弱く、長い時間塩素成分の水に浸すと塩素に不動態皮膜が破られ、自己修復が間にあわず、局部的に浸食されることがあります。

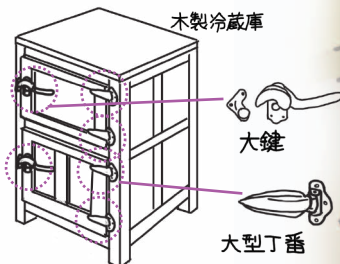
明治、大正時代の台所

座って台所仕事をしていた時代から、立って家事をするようになるにつれて台所も変化していきました。また、家族単位で食卓を囲んで食べる習慣がこの時代からはじまりました。



台所に冷蔵庫がやってきた

初期の冷蔵庫は、木製で中に金属を張った二層構造になっていました。上の部分に氷を入れ、下の部分に新鮮な魚や肉など傷みやすい食材を保存する画期的なものが登場しました。冷蔵庫の登場は、人類が火と水を手に入れたことに加え、台所にとってとても重要なことだったのです。



水道とガスそして電気が各家庭に入ってきた

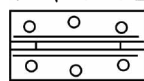
直火で薪を燃やして煮炊きをしていたものがガスコンロにかわり、電気炊飯器の登場も台所を一変させました。それに加えて水回りが井戸から水道に取って代わり、大きな変化をもたらしました。



小さな空間でも台所が作れるようになった

土間から室内に上がり込んだ台所は、昭和31年（1956年）、日本住宅公団晴海団地にダイニングキッチンとして設置され、ますます細分化されました。それに対処すべくアトムは近代化する日本の台所を住まいの金物で支え続けてきました。

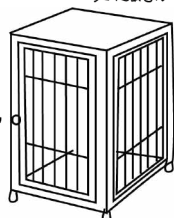
ステンキッチン丁番



ステンレス調理台用換気孔



文化蠅帳



昭和初期のアトムの金具たち

ストレーナー水落し



10th ANNIVERSARY



CS TOWER 通信

ギャラリーショップ KANAGU「春のおくりものフェア」を開催します!



*プレゼントがなくなり次第終了させていただきます

1 階ギャラリーショップ KANAGUでは3月16日から4月14日まで、「春のおくりものフェア」を開催します。期間中に蒲田切子のグラスをお買い上げのお客様には、岩手県奥州市の岩谷堂筆筒の端材を使って丁寧に作られた一合升をプレゼント。この機会をお見逃しなく!



アトムCSタワーから 春のイベントのお知らせです

「楽器職人と演奏家による体験型セッション」を開催しました



目 本の伝統楽器の箏、三味線、尺八などを製作する楽器づくりの匠と、日本の音を奏でる演奏家によるセッション&トークイベントが行われました。箏の本体となる木に鉋をかける実演を間近で見たり、参加者がミニ箏の演奏にトライしたりといったユニークな交流企画でした。

シントラトピ! 足湯もグルメもセレクトアイテムも! 「旅する新虎マーケット」

2020年東京五輪のメイン道路となる「新虎通り」では、「旅する新虎マーケット」がいよいよ始動。日本各地の食とアイテムを紹介するショップとストアが点在し、旅するように地域限定品やスペシャルメニューが楽しめます。現在は山形市、湯河原町、高岡市、宇部市、今治市の6都市。皆さんも旅するようにお散歩してみませんか?



アトムCSタワー Open 月-金 10時-18時 JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分
 東京都港区新橋 4-31-5 TEL.03(3437)7750 Close 土・日・祝日(第1・第3土曜日は営業) 都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

今年もファアーベが 畑に春を連れてくる。



イタリア名産のそらまめ、ファアーベはキレドで採れる、春の野菜の代表格。香りも味も華やかで、生で食べるのがおすすめです。ローマでは、ペコリーノチーズを削ったものとオリブオイルをかけて、白ワインで楽しむのが主流。また、美しいファアーベの花からも、

まったく同じ風味が楽しめます。その花びらを料理に添えれば、とびきりおしゃやれな一皿に。ファアーベの実がなれば、その後に迫るあたたかな毎日が待ち遠しくて仕方がない。キレドにとって、春の使いのような存在です。



クリタカシ | 野菜農家「キレド」代表。サラリーマン時代に出会った「梨のような大根」に感銘を受け、農業の道に。現在は千葉県四街道市にて、年間150種類以上の野菜を栽培している。「野菜の一生をみる」「レストランでしか食べられないような野菜を、食卓にも」を基本理念として活動中。同県千葉市には、とれたて野菜を味わうことのできる「キレドベジタブルアトリエ」も。

キレドベジタブルアトリエ
千葉県千葉市若葉区小倉台5-13-4-1F
www.kiredo.com



古今
東西
たても
のうたり

千代田区・ニコライ堂（東京復活大聖堂）

取材 文 倉田ひさし 撮影 大垣善昭

ビザンチン様式の建築美を誇る大聖堂



JR御茶ノ水駅近く、「ニコライ堂」の名で知られる大聖堂は、日本ハリストス正教会の宣教師ニコライによつて、七年の歳月をかけ、一八九一（明治二十四）年に竣工した。その後、関東大震災で被害を受けたものの復興し、日本でも有数のビザンチン様式の建築として、一九六二（昭和三十七）年、国の重要文化財に指定された。

ロシア人司祭ニコライ

日本での伝道の第一歩

「ニコライのドーム見ゆる小二階の欄干
の下の朝がほの花」

そう詠んだのは、与謝野晶子である。

晶子はそれまで住んでいた千駄ヶ谷から、家族そろって神田駿河台に転居してきた。その借家の小二階から、ニコライ堂が目の前に見えたのである。

ニコライ堂の正式名称は「東京復活大聖堂」という。日本に「正教会」の教えを伝道したロシア人宣教師ニコライ（カサートキン）の名に由来する。ローマ・カトリック教会やプロテスタント諸教会が西ヨーロッパを中心としたのに対し、「正教会」はキリスト教が生まれた中近東を中心に、ギリシャや東欧からロシアへと広まった。イイスス・ハリストス（イエス・キリストのギリシャ語読み）に始まる初代教会の信仰を、今日までそのまま継承している教会といわれている。

ニコライは、ロシアの小さな村に生まれ、神学大学へ進み、聖職者としてエリートコースを歩んだ。もともと日本に強い関心を抱いていた彼は、ある日、日本の司祭を公募する文書を目にする。この文書をきっかけに、海外伝道への夢をふくらませ、極東の地・日本で宣教する決意を固めるのだ。

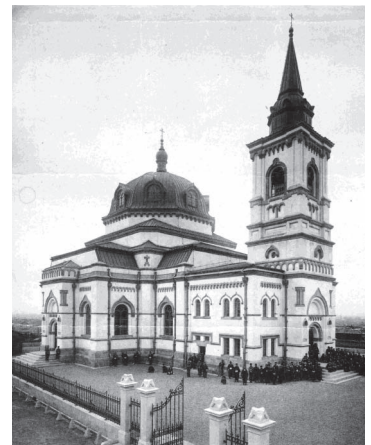
来日したのは、一八六一（文久元）年。軍艦に乗って函館に到着し、ロシア領事館の付属聖堂の司祭として、日本における「正教会」の第一歩を踏み出した。ニコライ、二十五歳のときである。

この年、ロシアでは「農奴解放令」が公布され、アメリカでは南北戦争が勃発。日本では攘夷派水戸藩浪士が英国駐日公使館を襲撃する事件が起こった動乱の時代である。

ニコライは幕末動乱の八年間に函館で



大主教ニコライ



竣工した当時のニコライ堂。駿河台の高台にあり東京の街が見わたせた



関東大震災後に復興された現在のニコライ堂。日本で最初にして最大級のビザンチン様式の建築美を誇っている

日本語と日本の歴史・文化を精力的に自らのものとしていった。一八六八（明治元）年五月、日本人への最初の洗礼を行った。一八七二（明治五）年には本拠地を函館から東京・神田駿河台に移し、本格的な伝道活動をスタートさせる。さらに教会の象徴的存在ともなる大聖堂の建設に着手するのである。

ビザンチン建築の大聖堂

設計の原案は、ロシアの建築家ミハイル・シチュールポフ。実施設計と工事監督にあたったのは、「近代建築の父」と評されるジョサイア・コンドル。ニコライの指導の下、一八八四（明治十七）年に建設が開始され、七年の歳月をかけて



聖堂内にはコリント様式の円柱に支えられたバルコニーがあり、かつてはこの場所で聖歌隊が祈りの歌を歌った

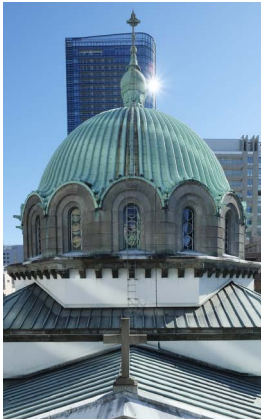
一八九一（明治二十四）年に竣工した。

石積み基礎に煉瓦造り、壮麗なドームを頂き、鐘楼を備えた堂々たるビザンチン建築の大聖堂であった。ビザンチン建築とは四世紀から十五世紀中頃まで東ヨーロッパ一帯に発展した東方キリスト教圏の建築。大ドームのある集中式教会堂建築が特色で、内部はイコン（聖像）や金箔・プラチナ箔で彩られた装飾がほどこされている。

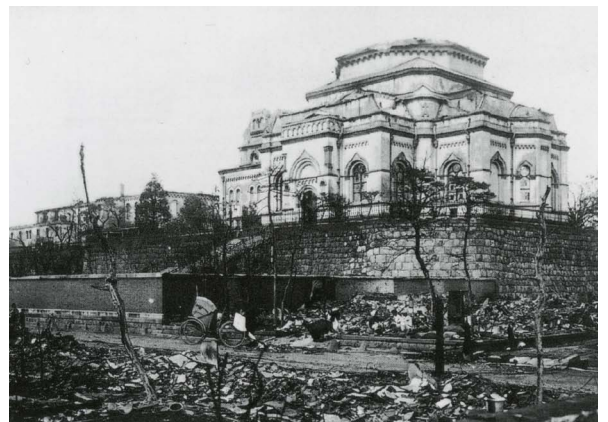
当時は、この大聖堂から東京の街が一望でき、遥か遠くまで鐘の音が響き渡ったという。ニコライ堂は明治期を代表する、まさに東京のランドマークとなった。だが、そのニコライ堂に思いもかけない災害が襲いかかる。関東大震災である。鐘楼上部が倒壊し、大鐘は割れた。午



サンタクロースの原形となった聖ニコラウスのステンドグラス



鐘楼から望むドームの屋根。銅板葺きの緑青で覆われている



関東大震災の被害を受け、ドームと鐘楼が破壊され崩れ落ちてしまった

後四時、震災後の猛火により類焼し、大ドームは焼け落ち、聖堂内部を焼き尽くした。

ニコライの鐘が鳴り響く

大聖堂復興の機運が高まる中、設計にあたったのは早稲田大学で教鞭を執っていた建築家・岡田信一郎である。岡田は歴史的な様式を守りつつ、鉄筋コンクリートで建てることに定評があり、歌舞伎座や明治生命館などの建築で知られる。大聖堂の復興工事に際して、煉瓦造りの構造体を残しながら、耐震用に鉄筋コンクリート造りを採用。かつての大聖堂のイメージを損なわないよう、建物を補強

アトムの視点



拝観者が入れる大聖堂手前の部分からだとは奥まっついて見えますが、2階のバルコニーへと続く螺旋階段が聖堂内の両サイドに設置されています。真鍮製の階段には細部に装飾が施され、窓際のステンドグラスとの相性も良く、クラシカルな雰囲気満点。ふだん高いところは平気な私ですが、少しだけクラクラしてしまいました。



ドームと鐘楼の屋根の鮮やかなミントグリーン色は、天然の緑青（ろくしょう）によるものです。もともと赤褐色だった銅板が時間の経過とともに酸化して一種の錆が起り、緑色に変化。これが強固な保護膜となって耐久性が増します。ニコライ堂の緑青は色ムラがなく均一で、美術的観点からも本当に美しく見事な発色です。



イコン(聖像)で覆われたイコノスタス「聖障(せいしょう)」。この壁で天国を象徴する「至聖所」と、信者が祈る「聖所」とが区切られている

したうえで新たなデザインも導入した。変更部分はドームの形、鐘楼の高さ、室内のコリント式円柱やバルコニーなど最小限に抑え、一九二九(昭和四)年に完了。割れ落ちた大鐘の代わりに、ニコライゆかりの函館教会から大鐘が取り寄せられ、新たな「ニコライの鐘」が鳴り響いた。新生大聖堂として見事によりがえったのである。

最初にして最大級の建築

明治期の創建以来、百二十六年。世紀と四分の一世紀を越えた大聖堂の歴史は、そのまま日本の近代から現代への軌跡と重なる。

一九六二(昭和三十七)年には、国の重要文化財に指定。日本で最初にして最大級の本格的ビザンチン様式の建築美を、駿河台の台地にいまなおとどめている。

ちなみに大聖堂建築に力をつくし、みづから信じる「正教会」の教えを日本に根づかせようとしたニコライは、一九一二(明治四十五)年、心臓病で倒れ、永眠。享年七十五。竣工から二十一年後のことであった。

日本を愛し、日本人に慕われたニコライは、第二の故郷ともいえる日本の大地、東京・谷中霊園に埋葬されている。

INFORMATION

ニコライ堂(東京復活大聖堂)

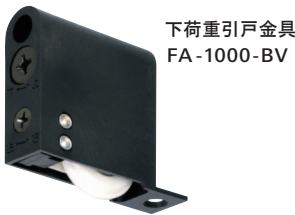
- 所在地：東京都千代田区神田駿河台4-1-3 東京復活大聖堂教会
- TEL. 03-3295-6879
- 伝道会：火曜日 19:00～20:30 水・金曜日 18:30～20:30
木曜日 19:00～21:00
- 聖堂拝観(見学)：午後1時～3時半(10月～3月)
午後1時～4時(4月～9月)
- 拝観献金：300円(中学生は100円、小学生以下無料)
- 交通：JR中央線「御茶ノ水駅」聖橋口 徒歩2分
東京メトロ 千代田線「新御茶ノ水駅」B1出口 徒歩2分
東京メトロ 丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩6分
- ホームページ：<http://www.nikolaido.org/>



鐘は毎日定時(6時、12時、18時)と日曜の聖体礼儀のときに鳴り響く

Q1 日本の家で「引戸」は昔から使われていますね？

A 玄関や襖、障子など、日本人にとって「引戸」は、付き合いの長い建具のひとつです。基本的には、溝やレールに沿って左右にスライドさせ開閉する仕組みですが、大きく分けて「引戸」には2種類あります。昔から使われてきたのは「下荷重引戸」というタイプですが、もうひとつ「上吊式引戸」があります。おのおのに特長がありますが、今回は「下荷重引戸」についてご紹介しましょう。



Q2 「下荷重引戸」の構造はどうなっているのでしょうか？

A 襖の場合、上は鴨居の溝に入り、下は敷居の溝に入って戸を滑らせて開閉する構造になっています。滑りを良くするために溝に蠟を塗ったり、敷居に塩ビシールを貼ることもあります。重い「引戸」はスムーズに開かないという悩みがありました。そこで考えられたのが、「引戸」を軽やかに開閉する「戸車」と「レール」です。「引戸」の下の凹面に「戸車」が付けられ、戸車に合わせて床に凸型の「レール」が敷かれました。これは「丸型戸車」と「甲丸レール」と呼ばれ、室内の「引戸」だけではなく、玄関やガラス戸など、多くの場所で利便性を発揮しました。このほかに車の形状によって、「角型戸車」「平型戸車」の計3種類があり、それぞれに対応した「レール」があります。

What is ATOM?

アトムが扱っている商品の中から、代表的なものをご紹介します。シリーズ第3弾。今回は「引戸」「戸車」「レール」について、高橋良一社長に伺いました。



アトムリビンテック株式会社
代表取締役社長 高橋 良一
1949年生まれ。1969年入社。集配センター、研究室、営業管理部、販売部等を経て、1980年、代表取締役副社長。1984年、代表取締役社長。



Q3 凸型のレールは足が引っかかることもありますね？

A そうした不便を解消するために、1970年頃に、突起の出ない埋め込みタイプのフラットな「レール」が登場しました。それが「V型戸車」と「V型レール」です。ところが、最初の頃は「甲丸レール」よりも施工が難しいということで、なかなか市場に浸透しませんでした。その後、公団などに少しずつ採用されるようになり、その良さが徐々に理解され、いまではスタンダードな製品になっています。



Q4 ユニバーサルデザインの時代にマッチしたのですか？

A はい。その後90年代には、さらに走行性を良くするために施工後の「引戸」と枠の隙間を調整できるタイプが出てきます。これがアトムの「調整戸車」で、上下左右の方向をネジで簡単に調整できるようになりました。このほか、脱輪しにくいT型やY型の「戸車」や「レール」、掘込み加工のいらない「薄型レール」も開発しました。アトムは「引戸」に関しても、さらなる快適さを求め、内装金物の進化を追求しつづけています。

アトムリビンテック株式会社 会社概要

- 創業 1903年(明治36年)
- 設立 1954年(昭和29年)
- 代表者 代表取締役社長 高橋 良一
- 資本金 3億74万円(平成28年6月期末)
- 従業員数 113名(平成28年6月30日現在)
- 本社所在地 東京都台東区入谷1-27-4
- 年商 99億1,300万円(平成28年6月期)
- 事業内容 内装金物(住まいの金物)の企画・開発・販売



当社の業績概況や事業戦略にスムーズにアクセス! アトムリビンテックの「株主・投資家情報」サイトをぜひご利用ください。

www.atomlt.com/ir



「全方位型営業」って何？

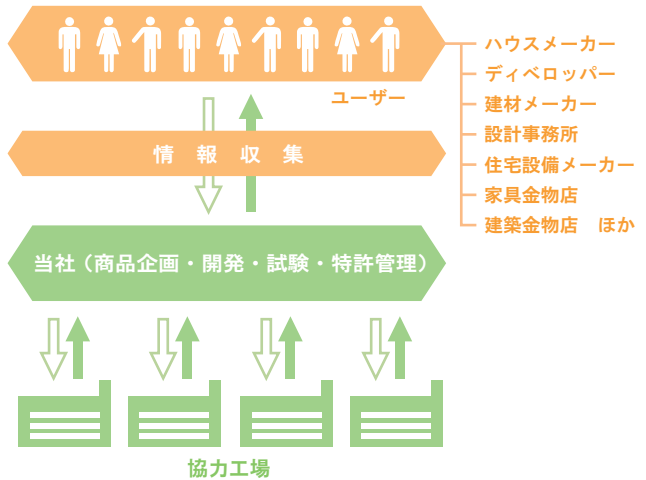
アトムリビングテックは、全国的な規模で幅広い分野のお客様と、長年にわたり信頼感のあるお付き合いをさせていただいています。金物同業卸をはじめ、建材メーカー、ハウスメーカーなど、内装金物を取り扱うあらゆる層をお客様として、アクティブクライアントは1000社以上に及びます。

こうした全方位のお客様との定期的なコミュニケーションで得られた情報や要望を「ものづくり」に反映させ、市場や現場のニーズを見極めて商品開発に活かしています。また「販売促進グループ」による新規販路の開拓や、設計事務所などへの営業支援活動を展開し、「全方位型営業」の強化にも努めています。

さらに、オンライン上で最新版の総合カタログ「アトムデータライン」を提供するほか、直轄の「ATOMダイレクトショップ」や、複数の大手ポータルサイトでの出店など、販売チャネルの開拓を推進し、より強固な営業基盤の構築を目指しています。

こうしたユーザーの垣根を超えた「全方位型営業」の展開は、アトムリビングテックの経営の源泉であり、「自らが作りだしたものを「自らが販売する」という理念を具現化したものなのです。

当社の営業フィールド



INFORMATION

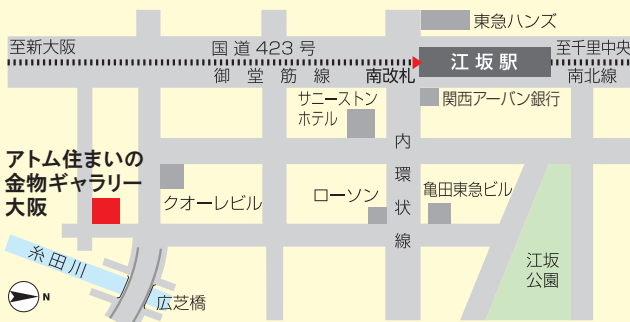
アトムリビングテック「2017 春の新作発表会」のご案内

大阪会場

4/
13(木) 14(金) 15(土)

アトム住まいの金物ギャラリー大阪

tel.06(6821)7281 大阪府吹田市広芝町18-5
10:00～18:00 *最終日は17:00まで



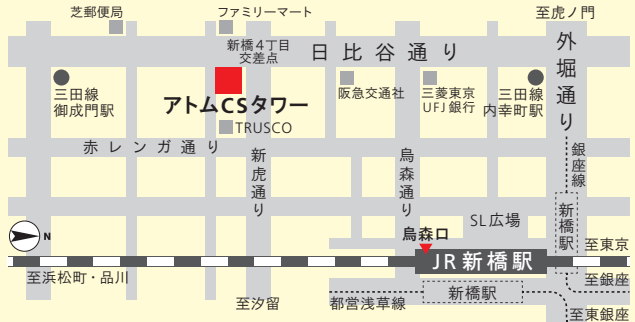
御堂筋線・南北線「江坂駅」南改札より徒歩8分

東京会場

4/
20(木) 21(金) 22(土)

アトムCSタワー

tel.03(3437)3440 東京都港区新橋4-31-5
10:00～18:00 *最終日は17:00まで



JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩8分
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩8分

ご来場ご希望の方は、アトムリビングテックホームページより招待状をプリントアウトしてお持ちください。

www.atomlt.com



これまでの大量消費時代を経て、あらたな価値観が求められている時代、大阪の片隅にあるカフェ「Salon de AManTo 天人」を旗艦店とする天人(あまんと)グループは、これまでとはまったく違った発想でお店づくりをはじめました。そこには究極のエコ精神が息づき、たくさんの人々が天人グループで学び、旅立っています。

前編



Salon de AManTo 天人 (サロンド・アマント)

すべてはここから始まった!

崩れそうな古民家にコツコツと手を加え、いっさいお金をかけず廃材を再利用して素敵なカフェを地域の人たちも巻きこみながら造り上げました。

10月19日は、おじいさんがめくれなかつた日めくりの日

この古民家の最後の住人のおじいさんがめくれなかつたカレンダー10月19日を追憶してオールナイトで営業し、この家と過ごします。

FM 天人



ミニFMラジオ局『Noroshi Cast.』階段下をうまく利用したラジオ局はコンパクトながら地域の人への発信基地となっています。(定期番組は中止中です。音楽放送のみ)



演じる

観る

飲む

食べる

今も日めくりカレンダーが残っている

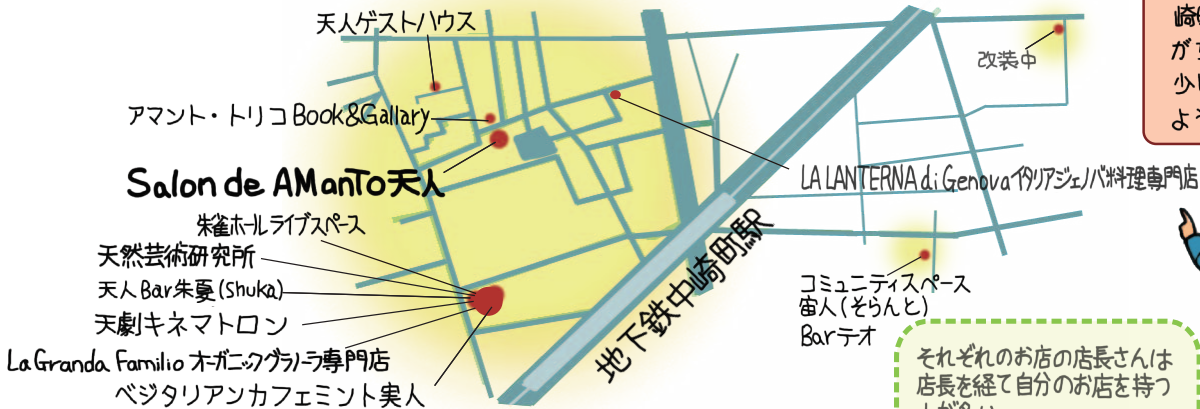
古民家が劇場、映画館そしてカフェ、Bar に大変身!

外観からは想像ができませんくらい室内施設が充実しています。舞台を完備した劇場、個人でも上映会が開ける映画館、そして鑑賞する前後にゆっくり時間を過ごせるカフェやBar が併設されています。アマントの劇場でイベントが開催されると天人グループ以外のお店にお客が流れ販わう、それがまた嬉しいとジュンさんは言います。

ここでは学校帰りの子どもがジュース1杯無料で飲めます。しかし2杯目からはお店のお手伝いをしてもらうことにしています。

ジュンさんが構想していたのは街をアートで活性化し「この街に人がやってくるようにすること」です。街を歩いていると中崎町のMAPを持っている人たちがちらほら現れています。少しずつ試みは成功しているようです。

天人グループのエコビレッジMAP



それぞれのお店の店長さんは店長を経て自分のお店を持つ人が多い。



● Salon de AManTo 天人

大阪府大阪市北区中崎西 1-7-26
HP: <http://amanto.jp/japanese>
Mail: info@amanto.jp
TEL: 06-6371-5840



profile アマント・ジュン

天人グループ代表。大阪中崎町を中心に、地域創成として「Salon de AManTo 天人」を経営。数奇な運命に導かれるように、戦火を免れたこの古民家の街、中崎町に天人カフェを創設した。建設費は0円、廃材を使いすべて自分達の力で造り上げた。成功の秘訣は地元の人たちとの繋がりを大切にすること。今は人と人が幸せに暮らせる街をつくるために、観光マップも含めた「多言語情報地図」に挑戦している

読者の声

全体的にボリューム・内容等が、数多く送られてくる各種企業誌のなかでも秀逸です。必ずストックして、時間の有るときに読み返しています。
(神奈川県 極楽とんぼ様 男性)

黒大根、初めて見ました。煮物料理で使ってみたいです。四街道は近いので、キレドさんの畑やキレドカーを見てみたいです。写真もキレイで次回も楽しみにしています。
(千葉県 I・T様 女性)

「石の神様仏様」のコメントには、いつも勇気をいただいております。
(京都府 N・M様 男性)

家をワープする空間(階段)が大変勉強になりました。また、水晶の不思議なチカラも現在クォーツ時計に使用されていることがわかり、「サイエンス」の素材が明瞭に説明されており、良かったです。
(北海道 登山水様 男性)

「たてものがたり」富田屋は、町家の構造、風情、工夫など、職人のこだわりが良く見てとれる好企画でした。
(大阪府 K・M様 男性)

金物の存在を感じさせない金物を作ってください。
(東京都 F・J様 男性)

使い勝手が良く、昔から利用させていただいています。もともと「ATOM」という名にひかれましたがね。
(神奈川県 チョボ様 男性)

編集後記

「アテナの道具箱」にご登場いただいた大森勇輔さんに、取材の折、個人的に靴をオーダーしました。「カジュアルライン」というセミオーダーの靴で、値段も比較のお手頃でした。2カ月後に届いて、最初に履いた感触は、「履く」というより、足をソフトに包み込み、身体を支えるという感じ。既製品のように「型に足をはめ込む」とは明らかに違います。すっきりめのデザインも好み。大切に履きたいと思います。
(オージョー)



INFORMATION

住まいの金物CADデータあります!

ご希望の多い商品のCADデータをDXF形式でご用意しています。どうぞお役立てください。

アトムリビンテックHPからご覧いただけます。

☞ www.atomlt.com/caddata/



大阪事業所 主任 折居 寛希

主に関西エリアの特需営業を担当

私がデインギーヨットに出会ったのは、大学から新しく何かを始めたいと考えていた時に、「ヨットに乗ってみたい?」と勧誘を受けたのがきっかけでした。

デインギーヨットは、船室のない小型のヨットのことです。動力は風だけです。日本の大学などで行われるヨット競技といえは、ほとんどがこのデインギーヨットによるものです。

学生時代、二人乗りのY-16シーラークというデインギーヨットに先輩と初めて乗ったとき、セール(帆)に風を受けて海面を走り出すと、セールを操作するシート(ロープ)から手に伝わる風の力、体と海面が近いことで、より一層速く感じるスピードがたまらなく、1回でその魅力にとりつかれました。初めての体験でもっとヨットのこ

とを知りたいと思い、大阪・淡輪にある大阪府立青少年海洋センターに学生ボランティアとして所属しました。そこはヨット、カッターボートなどの海洋プログラムやキャンプを体験できる施設で、自身もトレーニングをしながら、子どもたちのヨット体験やキャンプのお手伝いをしていました。そこで共に活動した仲間とは、20年を経ても付き合いがあり、良い思い出です。今も夏が近づくと、大阪北港ヨットハーバーで、ヨットをレンタルしてセーリングを楽しんでいます。年齢を重ねても楽しめるスポーツなので、これからも長く続けていきたいと思っています。

最後に、4月には当社の展示会「2017春の新作発表会」が開催されます。大阪・東京会場へのご来場をお待ちしております。



写真のヨットはトッパーです。
セーリング中はすべてを忘れて楽しめます

個人情報の取り扱いについて

アンケートや読者プレゼントにご応募いただいた皆さまの個人情報は、読者プレゼントおよび「ATOMNEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOMNEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。

